

平成 21 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞 受賞

このたび本研究所の岩田浩康准教授が、平成 21 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞いたしました。

本賞は、文部科学省が、萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた 41 歳未満の若手研究者を対象とし授与しているものです。

【受賞】

岩田浩康 准教授

「総合機械工学分野における生活支援ロボットの実践的開発研究」

【受賞理由】



生活支援ロボットに必要な「安全・安心」、「巧みさ」といった基本機能の実現は技術的に難しい。岩田浩康博士は、これらに関して経産省が 10 年後に掲げる目標を凌駕した TWENDY-ONE の開発に世界に先駆け成功した。最大の特徴は、接触安全や手先の器用さを飛躍的に高める効果に優れた受動柔軟性を身体各部に搭載した設計にあり、世界中のロボット専門家からも高い評価を受けている。本成果は、人の傍らで安全に作業支援を行える実践的な生活支援ロボットの基盤技術として大いに期待される。

【主要論文】

- ・「Human-Robot-Contact-State Identification Based on Tactile Recognition」, IEEE Transactions on Industrial Electronics, vol.52, no.6, p 1468 ~ 1477, 2005 年 12 月発表
- ・「人間共存ロボットのための全身触覚インタフェース」, 日本ロボット学会誌, vol.20, no.5, p 543 ~ 549, 2002 年 7 月発表